



格致 KAKUCHI,
the driving force for
the future of people and society

福井大学 (福井県)

自然豊かな福井で日本を体験しよう！

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 概要

福井大学は、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の4学部、及び大学院福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学連合教職開発研究科、大学院医学系研究科、大学院工学研究科、大学院国際地域マネジメント研究科の4研究科からなる。



2) 教員・学生数（2025年5月時点）

学生数（正規生）：	学部生	4,049名
	大学院生	992名
教員数：		604名

② 国際交流の実績

留学生在籍数：193名（24カ国・地域）
学術交流協定数：99（大学間）、78（部局間）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2025年：留学生数193人、日研生1人
2024年：留学生数175人、日研生1人
2023年：留学生数163人、日研生1人

④ 地域の特徴

福井市は、日本のほぼ中央に位置し、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれたところである。日本海に面し、古くは大陸諸国と都を結ぶ玄関として重要な位置を占め、その長い歴史と伝統、そして四季折々の変化に富んだ美しい自然は、日本の典型的な風情を漂わせている。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

- ・主に日本語教育科目を履修し、日本語能力を向上させ、日本文化について理解を深める。
- ・本学の他の留学生や日本人学生と一緒に共通教育科目及び専門科目を履修し、単位修得を目指す。
- ・授業科目：日本語・日本文化研修留学生のための特別な授業科目はない。
- ・履修科目については、単位修得証明書を発行する。
- ・修了要件を満たした場合、修了証書を発行する。

③ 受入定員

4名（大使館推薦3名、大学推薦1名）

④ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講希望するには、以下の条件を満たすことが望ましい。

- ・日本語能力検定試験N2以上。
- ・日本語・日本文化・教育などに関心があり、それらの各分野で研究学習歴があること。

⑤ 達成目標

プロジェクトワークやプレゼンテーションなど実践的な活動を通して日本語能力を向上させるとともに、自身の考えや学習の成果について発信することができる。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2026年9月下旬～2027年9月下旬
在籍期間：2026年10月1日～2027年9月30日

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月 ～ 2027年9月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬	渡日/オリエンテーション
10月1日	後期（秋学期）授業開始
1月	留学生との交歓会
4月上旬	前期（春学期）授業開始
5月下旬	大学祭
9月上旬	修了判定
9月中旬	修了式
9月下旬	帰国

その他、各種学生イベントを実施している。
また、地方自治体や民間団体主催の見学会・交流活動等も随時実施されている。

- ・着付け・茶道体験
- ・能楽体験講座



「ハロウィンイベント」

⑨ コースの修了要件

下記⑩の掲載科目から11科目かつ合計20単位以上を修得すること。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

授業は原則として、前期・後期各15週開講する。
以下の科目から、必ず各学期7科目以上履修すること。
各科目の内容は変更となる場合がある。

2) 研修・コース開設科目

I) 必修科目及び選択必修科目・内容

＜必修科目＞

2科目4単位修得すること。
(各2単位/1コマ、90分x15週)

【留学生のためのプロジェクトワークⅠ（上級）（春学期）】

日本語によるインタビュー活動を日本人学生や地域の人を対象に行う。この活動を通じて、話す、聞く、のような日本語能力を伸ばすだけでなく、日本や日本人に対する理解を深めることを目指す。

【留学生のためのプロジェクトワークⅡ（上級）（秋学期）】

グループで相談して、テーマを設定し、それについて資料を調べたり、調査を行ったりし、その結果を報告書やポスターのような形にまとめる。これら一連の活動を通じて、日本語による情報収集を行う技術を身につけたり、わかりやすい日本語で情報を発信したりする。自分の興味のあることや独自の視点を掘り下げるにより、それらについて理解を深める。さらに、ほかの学生と一つのことについて話し合い、一緒に活動することによって、お互いの見方を知り、コミュニケーション能力を磨く。



「留学生のためのプロジェクトワークⅠ」
インタビューの成果発表会

＜選択必修科目（日本語科目）＞

日本語プレースメントテストの結果に基づき、日本語レベルに応じて選択すること。以下の科目から、3科目3単位以上修得すること。
(各1単位/1コマ、90分x15週)

【日本語A（中上級）（春学期）】

日本社会や文化など、多様な話題を取り上げ、話す練習をする。具体的には、話したい内容を整理しながら話したり、相手を意識して伝えることを目指し、様々な状況を設定して、話す練習をする。さらに、相手の話を整理しながら聞き、それに適切な応答ができるようになる練習も行う。

【日本語B（中上級）（秋学期）】

依頼、許可など、それぞれの場面で、相手に応じた表現を使って、相手との関係を維持し、目的を達成できるようになる。

【日本語C（中上級）（春学期）】

大学生活に必要なレポートの書き方の基礎を学ぶ。レポートを書くために必要な、客観的な文章の書き方、根拠の示し方、意見の述べ方などを学ぶ。

【日本語D（中上級）（秋学期）】

論理的な文章の書き方やレポート作成に必要な知識や技術を学ぶことを目的とする。具体的には、レポートや論文を書く際に必要となる、主張の提示、根拠の示し方、意見や考察のまとめ方、適切な引用方法などを習得し、様々な場面で求められる論理的な文章が書けるようになることを目指す。

【日本語E（上級）（春学期）】

フォーマルな場面の議論において、正確に自分の考えや意見を表現し、考えと考えの間の関係を明確にしながら、活発な議論に参加できるようになる。その場にふさわしい丁寧さでコミュニケーションができる。

【日本語F（上級）（秋学期）】

講義やゼミなどで自分の意見、主張等をプレゼンテーションソフトを用いながら、わかりやすい日本語で論理的に示すことができるようになるための練習を行う。

【日本語G（上級）（春学期）】

長く複雑な文章を繰り返し読むことにより、その内容を詳細に理解できるようになる。また、グループ活動を通して、話し合いをしながら読んだ内容について理解を深める。最後に、読解の内容と関連するトピックで小論文・レポートが書けるようになることを目指す。

【日本語H（上級）（秋学期）】

日本語の一般書を読んで、その内容をレジュメの形にまとめて、わかりやすく他者に報告する。それをもとに話し合いながら内容についての理解を深め、その上で自分の意見をミニレポートとしてまとめる。学期の最後には総まとめのレポートを執筆する。

＜選択必修科目（共通教育科目）＞

以下の科目から、2科目4単位以上修得すること。
(各2単位/1コマ、90分x15週)

【日本事情（春学期/秋学期）】

福井の企業・産業、キャリア支援、学校教育、言語（方言）などさまざまな分野について専門家の講義を聞き、現在の福井について理解を深める。

【日本の文化（春学期/秋学期）】

日本や福井の文化を知るために、日本の食文化や茶道などのテーマごとに、日本語による講義で知識を得た後、福井県内にある施設を訪問したり、体験学習をするなどの校外学習を行う。知識と体験を通して、日本の文化について理解を深めていく。

※内容が変更になる可能性がある。



「日本の文化」茶道体験

【異文化コミュニケーション入門（秋学期）】

【多文化共生の取組と課題（春学期）】

日本人学生と留学生の共修授業。国境を越えて多面的な交流が進むグローバル化時代には、異なる価値観や世界観を互いに理解し、認め合い、互いが協力して諸問題を解決し仕事を組み立てられる人材が求められる。そのことを、グループによる課題作成を通して学ぶ。

＜選択必修科目（専門科目）＞

所属学部専門科目から各学期2科目選択して修得すること。

II) 選択科目・内容

＜選択科目（共通教育科目・専門科目）＞

以上の科目に加え、希望によりその他の共通教育科目及び他学部の専門科目の中から適宜履修できる。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

前述の選択必修科目（共通教育科目）のうち、「日本事情」及び「日本の文化」が該当。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

前述の選択必修科目（共通教育科目）のうち、「異文化コミュニケーション入門」及び「多文化共生の取組と課題」が該当。

⑪ 指導体制

1) グローバル人材育成研究センター日本語教育部

プログラム担当

桑原 陽子 （准教授）

佐藤 綾 （准教授）

LI JINGYI （講師）

2) サポート体制

- ・バディ：日本人学生や先輩留学生が、渡日当初から種々の手続きの手助けや、キャンパス内の案内等、身近な相談相手となり留学生をサポートする。
- ・U-PASS (University Peer Academic Support Service) : 学生チューターによる日本語学習サポートを受けることができる。

■宿 舎

本プログラムの学生は以下のいずれかの部屋に入居することができる。ただし、寮の入居状況により民間アパートへの入居になる可能性がある。

- ・入居期間：1年間
- ・入寮費：20,000円
- ・共益費：3,000円/月
(水道光熱費は別途)
- (インターネットは別途契約)

- ・寄宿料：
【福井大学留学生会館】
居室A 14,600円/月
居室B 17,400円/月
【福井大学牧島ハウス】
単身室 11,000円/月

- ・宿舍設備・備品：ミニキッチン、ユニットバス、トイレ、机、イス、ベッド、冷蔵庫、本棚、スタンド、エアコン等
- ・共用設備：洗濯機、乾燥機（各1回100円）
- ・宿舍は自分の居室を含め全館禁煙。牧島ハウスは敷地内も禁煙。
- ・宿舍周辺の生活情報・通学時間：
留学生会館からキャンパスまで徒歩7分。牧島ハウスはキャンパス内にある。最寄駅までは徒歩3分。周辺にはスーパーやコンビニ、銀行、郵便局などがある。



福井大学牧島ハウス



福井大学留学生会館



■修了生へのフォローアップ

①キャリア支援

プログラム修了後に日本企業または日系企業への就職を希望する学生に対し、留学生向け企業説明会やビジネス日本語講座等、様々なイベントを周知している。また、インターンシップを希望する学生には、大学のキャリア支援課を紹介するなど個別に相談に応じている。

②ネットワーキング

本学では、留学生同窓会をアジアを中心に現在までに17支部を設立し、各国支部と連携している。その活動を推進するために、グローバル・エンゲージメント推進本部ネットワーク誌「こころねっと」を発行し、帰国留学生と情報交換を行っている。



U-PASSの指導風景

■問合せ先

＜担当部署＞

福井大学学務部国際課

住所：〒910-8507
福井県福井市文京3-9-1

TEL：+81-776-27-8405（直通）
FAX：+81-776-27-9715
Email：gk-iadexchange@ml.u-fukui.ac.jp

＜ウェブサイト＞

福井大学：<https://www.u-fukui.ac.jp/>
グローバル人材育成研究センター：
<http://www.lc.u-fukui.ac.jp/>

